



平成 22 年 2 月 2 日

各 位

会 社 名 横 河 電 機 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 海 堀 周 造
コ ー ド 番 号 6841 東 証 第 一 部
問 い 合 せ 先 広 報 ・ I R 室 長 市 瀬 裕 介
Tel 0422-52-5530

測定器ビジネスの再編について

横河電機株式会社(本社:東京都武蔵野市 代表取締役社長:海堀 周造)は、4月1日付で測定器ビジネスを再編し、横河電機の測定器ビジネスの主要部門を子会社である横河メータ&インスツルメンツ株式会社に統合することを決定しましたので、お知らせします。

これまでYOKOGAWAグループは、主として研究開発分野で使用される高機能測定器は横河電機、電気設備の保守等に使用される現場測定器等は横河メータ&インスツルメンツという分業体制で事業展開してきました。

今回、この2社のリソースを統合・最適化することで新たなバリューチェーンを構築し、グローバル化の進展に伴って大きく変化する市場環境に即応できる体制を構築してまいります。新体制では、事業の全ての面における経営スピードの大幅なアップとコスト競争力の向上を実現し、国内はもとより海外の成長市場で事業を拡大することにより、YOKOGAWA グループの測定器ビジネスの中核会社として大きく成長してまいります。

< 事業移管・統合の狙い >

当社の計測機器事業のうち測定器ビジネスについては、主要顧客である国内 自動車・電機などの産業で設備投資の抑制が続き、厳しい事業環境にあります。

しかし一方で、世界的な潮流である低炭素社会の実現に向け、国内外で省エネルギー関連の測定器市場が活況を呈し始めていること、また電子・光計測の分野では、中国をはじめとする新興国の計測需要の急拡大が見込まれることなど、新たな成長の道筋も見えてきています。今後当社測定器ビジネスを成長させていくためには、測定器ビジネスの体制を抜本的に見直し、省エネルギー関連の新市場や新興国を中心とする海外市場でのビジネス展開を加速していくことが必要です。

そのためにも、新市場の開拓に伴って必要になる各国のニーズに合った仕様の製品の開発とコスト競争力の強化が必須であり、マーケティング、開発、販売のすべてのプロセスにおいて、お客様の視点で考えてスピードと効率を追求しなければなりません。

そこで、横河電機と横河メータ&インスツルメンツに分かれていた測定器ビジネスのリソースを統合して経営効率を高め、国内および海外の市場での競争に 打ち勝つ経営スピードとコスト競争力を実現していきます。

一方、二次電池関連のソリューションビジネスや分光分析を応用したトータル計測ソリューション等高度な計測技術の領域については、引き続き当社が担当していきます。計測技術はYOKOGAWA グループの基盤技術であり、制御事業をはじめ多くの分野への応用が期待されます。グループ本社として高度計測分野の研究開発を行っていくことでグループ全体への展開を図っていきます。

<当社から横河メータ&インスツルメンツに移管する内容>

高精度測定器:電力測定器、圧力測定器、電圧・電流発生器、デジタル・マルチ・メータなど
波形測定器:デジタルオシロスコープなど
通信用測定器:光スペクトラムアナライザ、OTDR など

<測定器ビジネス新体制の概要>

会 社 名:横河メータ&インスツルメンツ株式会社
本 社 所 在 地:東京都立川市栄町 6-1-3
代 表 者:西島 剛志(にしじま たかし)
資 本 金:9000 万円(横河電機 100%出資)
事 業 内 容:電子計測器、計器の開発、製作、販売に関わる事業
従 業 員 数:約 220 名
事 業 目 標:2010 年度 売上高 100 億円

<今後の見通し>

当社の 2010 年 3 月期の連結業績に与える影響は軽微です。

以 上